

平成 28 年度第 1 回東名古屋医師会地域包括ケア検討委員会 議事録

平成 28 年 4 月 11 日(月)

午後 2 時～

於:東名古屋医師会事務所会議室

出席者(順不同・敬称略)

委員長:笹本 基秀 (東名古屋医師会 会長)

副委員長:牧 靖典 (東名古屋医師会 副会長)

委員:水野 正明 (名古屋大学 総長補佐 教授)(欠席)

都築 晃 (藤田保健衛生大学 地域包括ケア中核センター)

村居 巖 (愛知医科大学 医療福祉相談部)

石井 学 (愛豊歯科医師会 会長)

福井 正人 (瀬戸歯科医師会 長久手歯科医会 代表)

平井 佳彦 (瀬戸旭長久手薬剤師会 副会長)(欠席)

森 道成 (日進東郷豊明薬剤師会 会長)(欠席)

水野 隆史 (日進市地域福祉課 課長)

柏木 晶 (日進市地域福祉課 課長補佐)

横山 英治 (日進市東部地域包括支援センター 主任ケアマネジャー)

加藤 知恵美 (日進市中部地域包括支援センター 保健師・主任ケアマネジャー)

横山 利美 (日進市西部地域包括支援センター 看護師)

中野 智夫 (長久手市福祉部長寿課 課長)

今村 知美 (長久手市福祉部長寿課 保健師)

服部 志津子 (愛知たいようの杜 地域包括支援センター センター長)

深谷 美砂子 (長久手市社会福祉協議会 地域包括支援センター 保健師)

藤井 和久 (豊明市高齢者福祉課 課長)

松本 小牧 (豊明市高齢者福祉課 地域ケア推進担当係長)

田中 貴教 (豊明市南部地域包括支援センター 社会福祉士)

山本 正幸 (豊明市北部地域包括支援センター 主任ケアマネジャー)

近藤 克也 (東郷町長寿介護課 課長)(欠席)

森本 美香 (東郷町長寿介護課 介護予防係長)(欠席)

後藤 みほ (東郷町地域包括支援センター センター長)

磯部 芳一 (愛知県瀬戸保健所 総務企画課 主査)

石黒 孝康 (瀬戸旭医師会 在宅医療中核センター コーディネーター)

永井 修一郎（東名古屋医師会）
祖父江 良（東名古屋医師会 副会長）（欠席）
金山 和宏（東名古屋医師会）
松浦 誠司（東名古屋医師会）
田貫 浩之（東名古屋医師会）
井手 宏（東名古屋医師会）
木下 雅盟（東名古屋医師会）
嘉戸 竜一（東名古屋医師会）
村井 良則（東名古屋医師会 在宅医療サポートセンター コンダクター）

(1) 委員長挨拶（笹本委員長）

- ・この地域包括ケアシステムの構築に向けてご協力くださり、またお願い等に対して実行していただき、感謝申し上げます。1年経って課題や取り組み方がだんだん見えてきているように思います。あと2年間で具体的にどのようなことをやっていくのか。課題等を克服していくような形で、この会議でご意見を述べていただきたいと思います。各地域、各グループによる考え方～やり方を尊重して、全体として上手くまとめてやって行きたいと考えています。
- ・今回から瀬戸保健所から1名、委員を迎えることになりました。

(A 委員)

- ・保健所として地域包括ケアの取り組みに積極的に関わるためにメンバーに加えていただきました。よろしくお願いします。

(2) 豊明市「いきいき笑顔ネットワーク」の現状について（B 委員）

<資料：電子@連絡帳導入実績（尾張東部医療圏）>

- ・順調に運用。登録機関 131 機関、登録患者数 473 人。
- ・3月より介護保険の新規の利用者全ての方に、窓口で電子@連絡帳の利用同意いただく運用としました。また既に要介護認定を受けられている方には更新のタイミングで利用同意を取っていく運用です。要介護認定は最長2年なので、2年後には介護保険の全ての利用者で利用同意が取れていることになる予定です。

(3) 長久手市「愛・ながくて夢ネット」の現状について（C 委員）

<資料：電子@連絡帳導入実績（尾張東部医療圏）>

- ・登録機関 112 機関、登録患者数 362 人、記事の累積 8161 件、登録患者 1 人あたり

の記事数 23 件、歯科医院は 1 機関増の 5 機関（21%）、となっています。

(4) 日進市「健やかにつしん・ヘルピーネット」の現状について

(D 委員)

＜資料：電子@連絡帳導入実績（尾張東部医療圏）＞

- ・昨年度 1 月に在宅医療介護連携システム導入検討会議を立ち上げ、その中でこの名称が「健やかにつしん・ヘルピーネット」と決まり、今月に本格稼働となりました。資料の実績は 2 月からの試行実施による数字となります。また導入検討会議でネットワークの利用規約やセキュリティポリシーについての意見をいただいて「案」をまとめ、4/21(木)に在宅医療介護の連携に関する検討部会で会議の上承認をいただく予定です。4/23(土)、4/27(水)にシステム導入の説明会を開催予定です。
- ・ネットワーク名については、検討部会において親しみやすい名称が良いとの意見をいただきました。また、平成 27 年 1 月に日進市が「健やかにつしん宣言」を行いました。人、まち、社会の健康実現という意味がありまして、今後市をあげて健康施策を進めて行きましようというものです。「ヘルピー」とは日進市の健康づくりの公式マスコットキャラクターです。それで名称が「健やかにつしん・ヘルピーネット」となりました。

(5) 東郷町「レガッタネット とうごう」の現状について (E 委員)

＜資料：電子@連絡帳導入実績（尾張東部医療圏）＞

- ・12 月からの試行実績で、順調に運用中。登録機関 33 機関、登録 ID48 人、記事の累積 137 件、登録患者 1 人あたりの記事数 17 件となっています。4 月から本稼働。
- ・4/13(水)、4/14(木)、4/17(日)に操作研修会を実施予定とのことです。

(6) 各市町の在宅医療介護連携推進事業の現状と計画について（各市町担当委員）

＜資料、在宅医療・介護連携推進事業における短期的展望とその課題について＞

＜資料、地域包括ケア（在宅医療・介護連携推進事業等）推進組織一覧＞

＜資料（参考）、在宅医療・介護連携推進事業（実施主体：市町村）＞

(豊明市) (B 委員)

- ・展望：平成 28 年度中に豊明団地内集会所を改修し、医療介護連携センターを整備します。業務開始は平成 29 年度を予定で、本年度夏頃までに業務を受託する法人を決定の予定です。想定されるセンターの業務は、退院調整に係るルールづくりや、入退院を繰り返す患者等の把握及び支援、急性期、回復期、診療所をつなぐ地域医療連携体制の整備、医療・介護職等の人材育成事業等を考えています。

- ・課題：広域的な医療を担っている急性期病院の入退院時の医療介護連携では、複数市町にまたがる広域的な連携が必要。入院患者の動向を同じくする市町との広域による運営も検討していくべきであると考えています。
- ・医師会と調整～要望：センターが果たすべき機能、役割について、ご意見を賜りながら設置に向けた準備をしていきたいと考えています。

（日進市）（C 委員）

- ・展望：地域包括ケアシステムに対する全体の方針～方向性を決める組織として、日進市地域包括ケア検討会議を平成 27 年 7 月に設置しました。そして今後「在宅医療・介護連携推進事業」の具体的な取組方針等について協議するために、地域包括ケア検討会議の下に在宅医療・介護連携に関する検討部会を平成 28 年 4 月に設置しました。4/21(木)に第 1 回を開催予定です。「在宅医療・介護連携支援センター」の設置及び運営方針等について、この検討部会で協議検討を進めて行きたいと考えています。
- ・課題：地域包括支援センター等への委託、医療圏域による広域設置等、様々な可能性について検討し、課題を抽出して行こうと考えています。

（長久手市）（D 委員）

- ・展望：センターの名称を含め、今年度から検討していきます。また地域包括ケアに向けての会議は設置されてなくて、医療介護福祉ネットワークの連絡協議会において進めています。認知症施策の推進として、今年度は認知症初期集中支援チームの設置に向けて、検討を行います。
- ・課題：認知症初期集中支援チームについては、サポート医の確保が課題となっています。

（東郷町）（E 委員）

- ・東郷町地域ケア推進会議（平成 27 年 10 月～）の下に、平成 28 年 3 月から在宅医療・介護連携部会が設置されました。在宅ケアを考える会 TOGO についても今年度引き続き毎月開催して部会と連携していく予定。
- ・展望：自治体として小規模であるので、単独設置できずとも、連携又は共同で設置したい。
- ・課題：町単独での設置は困難であると考えられるため、他市と連携の上、共同設置（委託等）できないか。共同設置（委託等）できた場合、どこまでの業務を委託するかのすみわけが必要で、「切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進」「在宅医療・介護連携に関する相談支援」「在宅医療・介護連携に関する関係市区

町村の連携」などが想定されるとのこと。

- ・医師会と調整～要望：「24H365 日の医療と介護の提供体制」について、医師会での取り組みや方針がどのようなになっているのか、医師会と調整していきたい。そのうえで、医療と介護の連携について、どのように体制を整えていくか、行政側と意見をすり合わせる場を持っていただき、事業実施していきたい。

(7) 在宅医療サポートセンター 27 年度事業報告及び 28 年度事業計画について (E 委員)

<資料、東名古屋医師会 在宅医療サポートセンター 平成 27 年度事業実績 及び平成 28 年度事業計画>

<資料、在宅医療の提供と実施に関する実態調査>

[平成 27 年度事業実績]

1. 24 時間 365 日対応可能な在宅医療提供体制の構築を支援

○医療資源の把握：年度の始めに在宅医療に関する調査（医療機関～訪問看護ステーション）を実施し、9 月には本会 HP「訪問診療対応医療機関」、県医師会 HP「あいち在宅医療ネット」の調査～情報更新等を実施しました。1 月には県医師会からの依頼の調査で、在宅医療の提供と実施に関する実態調査を実施しました。調査結果～集計結果は資料を参照ください。

○連携推進のための調整会議：地域包括ケア検討委員会を 5 回開催し、在宅医療実施医師と訪問看護ステーションとの連携推進のための合同会議を 11/28(土)に開催しました。

2. 在宅医療導入研修を実施

○介護保険に関する講演会：会員の先生方を対象に実施しました。

○訪問歯科講演会：「一般歯科診療所による訪問歯科診療と訪問口腔ケア」について豊明市の歯科クリニックの先生にご講演いただきました。

○尾張東部地域サミット（中核センターと共催事業）

3. かかりつけ医普及啓発講習会を実施

○東名古屋医師会市民公開講座（本会事業）：2/11(木・祝日)に東郷町町民会館で「病気になっても住み慣れた場所で（在宅ケアの話）」について一般住民を対象とする講演会を実施しました。在宅医療サポートセンターで作成したパンフレットも配布いたしました。

4. 在宅医療に関する相談窓口を設置

○サポートセンター開設：平成 27 年 4 月 1 日に開設。

○広報・PR：管内市町広報誌にサポートセンター開設記事掲載。9 月にサポートセンターホームページ開設し、順次更新しています。

5. 二次医療圏のコーディネーターと密接な連携のもと検討する事項

- ・中核センターの事業で説明があります。

[平成 28 年度事業計画]

1. 24 時間 365 日対応可能な在宅医療提供体制の構築を支援

○医療資源の把握:本年度も在宅医療の提供と実施に関する実態調査(県医師会調査)を実施します。

○連携推進のための調整会議:地域包括ケア検討委員会を開催します(原則、偶数月)。新規で在宅療養支援診療所連携委員会を開催します(概ね4か月ごと)。第1回委員会は5/9(月)に開催予定です。内容としては「管内医療機関の訪問診療対象者の拡大を図る」「新規の在宅医療参入医療機関の開拓を図る」「在宅医療の様々な問題点を話し合う」等の予定です。

2. 在宅医療導入研修を実施

- ・未定です。(今後検討)

3. かかりつけ医普及啓発講習会を実施

○講演会・シンポジウム(中核センターと共催事業):9/22(木・祝日)に長久手市文化の家(風のホール)で開催予定、テーマは「認知症になっても、安心して暮らし続けるために(仮題)」です。

4. 在宅医療に関する相談窓口を設置

○広報・PR:継続実施し、内容の充実を図ります。

5. 二次医療圏のコーディネーターと密接な連携のもと検討する事項

○後方支援病院の確保:未定(今後検討)

○退院調整機能の構築:未定(今後検討)

○サポートセンターが実施する研修会・講習会の支援

(8) 尾張東部中核センターから報告(F委員)

<資料、平成 27 年度事業報告(尾張東部中核センター事業)>

- ・「後方支援病院の確保」と「退院調整機能の構築」については、各市町の会議や研修会等に参加して情報収集・現状把握に努めました。
- ・「在宅医療導入研修及びかかりつけ医普及啓発講習会開催の支援」については、サポートセンター事業の研修会等を支援し、2/14(日)には日進市民会館にて尾張東部地域サミットを開催いたしました。第1部は名大の水野正明先生に「地域包括ケアシステムについて」講演を頂き、第2部5市1町の首長によるパネルディスカッション(テーマ:安心して過ごせる地域社会に向けて)を行いました。参加者は212名でした。
- ・「在宅医療連携システムの互換性等の確保」については、5市1町の電子連絡帳の

実務担当者～各協議会～各部会の皆様のご協力の下に、ネットワークの広域的な活用を図るためシステムの管理者間で合意書を締結しました。

<資料、ネットワークの広域的利用に係る合意書（写）>

- ・平成 28 年 4 月 1 日付でネットワークの広域的利用に係る合意書が締結され、今後幅広い利用が出来るものと思われます。

<資料、ネットワークの広域的利用に係る注意事項>

- ・尾張東部医療圏内で電子@連絡帳の登録機関になっていれば、他の地域からも支援チームに加えることが出来るようになった旨を登録者にご案内いただく。
- ・合意書の締結に伴い、必要に応じて、（利用が各地域限定になっている等）それぞれのネットワーク利用規約等を見直していただく。
- ・ネットワークの広域的利用にあたり（他の地域からの支援チームへの参入は当初想定されていなかったのもので）、必ず「個人情報取扱同意書」の記載内容の見直しを図っていただく。
- ・現在利用しているネットワーク以外のネットワークの支援チームに加わった場合は、加わった地域のネットワーク利用規約を遵守していただく。
- ・現在利用しているネットワーク以外のネットワーク利用者を支援チームに加える場合は、当該登録患者さんから、「個人情報取扱同意書」を新たに取得していただく。

（G 委員）

- ・ネットワークの規則～利用規約を変更～改正して基準広げてしまえば、同意書の取り直しは必要ないのではないのでしょうか。

（F 委員）

- ・規約の変更～改正が大変であるという意見があったので、規約の方はあまり変更せずに同意書の方で対処しましょうという話になりました。規約そのもので対処出来ればその方が良いと思います。各市町の判断になると思います。

（G 委員）

- ・現在利用しているネットワーク以外のネットワークの支援チームに加わり利用する場合、登録者が複雑な形で存在するようになっていきます。いずれは改善されて行くとは思いますが、補足しておきます。

（9）藤田保健衛生大学から情報提供（H 委員）

- ・昨年 4/24 に豊明団地内に開設しました「ふじたまちかど保健室」は、1 年間で約 3000 人のご利用があり、個別に作成しているカルテを利用してゆっくりと病状等

を相談された方も 360 人となり、非常に多くの方々にご利用いただいております。昨年度は学生 16 名と教職員 2 名が豊明団地内に居住し、本年度は新たに 19 名の学生を加えて合計 37 名で動いていきます。当大学としては、周辺の市町村～特に東名古屋の管内に要望あれば無料で出張いたしますのでご利用頂ければと考えております。小さなサロンや集会所でもお邪魔して健康に関する講座講義等をお話しさせていただきますのでお声掛けください。

- ・豊明市と共同で行っています人材育成研修について、昨年度は退院支援に関するものと連携に関するものを中心に豊明市で行ってきました。そこで上がってきた課題は、入退院を繰り返す症例や同じ疾患を繰り返す症例を検証した結果、しっかりとケースを追って近隣の医療機関と話し合うことが一番大事ではないかという形になりました。今年度の人材育成研修としては、ケースをしっかり追うという事を課題にして、急性期あるいは回復期の病院等へしっかり提言していけるような会を開催していけたらと思っております。当大学病院は年間 25000 人の退院患者数ですが、退院調整室を経由するのはたった 2000 人です。ほとんどが一般病棟から直接在宅に帰ってしまう。帰ってからケアマネジャーさんや家族が困る～本人が苦勞しているというケースが多く存在します。この辺りに関して地域包括ケア中核センターの池田ケアマネジャーが今年度から兼務で大学病院連携室に入りましたので、より在宅からの声を大学病院の退院連携に生かすシステムに大きく形を変えました。要望等ありましたら私の方に言っていただければ、皆様方の声を大学病院の中に入れて行こうと考えています。
- ・人材育成事業の中に同職種会という組織がありまして、ケアマネジャーの会、訪問看護師の会、療法士の会の三つの部会が今年規約を持って連絡協議会となりました。リハビリ関係が一番進んでおり、豊明市で 3 月から開始している新総合事業のリハビリの評価内容、実施内容、包括との連携等に対して統一見解を持った豊明市リハビリテーション連絡協議会として動いています。この流れを東郷～日進～長久手に広げて、地域のメディカル組織を作っていくことが、医師会との接続をスムーズに出来るのではないかと考えております。療法士会としては、昨年地域ごとにアンケートを実施しました。第一弾として理学療法士会の HP のトップに各地域の理学療法～作業療法～言語聴覚士の施設会員数、自宅会員数の一覧表が PDF で掲載されています。今後もアンケート結果を随時掲載していきます。

(10) その他

①次回開催日：平成 28 年 6 月 13 日（月）午後 2 時～

②その他

(牧副委員長)

- ・皆さんの熱心な取り組みで高齢者対策の施策に関しては相当充実してきたと思います。しかしながら国の方針が地域包括ケアシステムというのは全年齢対応に変わってきました。今後の大きな課題の一つは子供対策、障害児～身障者対策です。行政的対策を統合する必要がある出てくると思います。

(G 委員)

- ・長久手の話です。困った時の連絡先として地域包括支援センターの電話番号が記載されている小さなマグネットシートを作成して 200～300 程配布しました。この電話番号は 24 時間対応です。レスキューということからすると非常に重宝するものと思いますので、ご紹介しました。